

## 20210405 始業式訓辞

みなさん、おはようございます。今回も安全を考え、遠隔での挨拶とします。

2月の終業式の挨拶で、「最速降下曲線」の話をしました。1か月間、考えてくれましたか。取り組んだ人は、レポートを校長に提出してくれないでしょうか。待っています。

さて、始業式の挨拶でみなさんに何を話そうかと思ひまして、今日は、SDGs の話をしようと思います。

3月の卒業式・専攻科修了式でも話したことを、みなさんにもお話しします。

今の社会で常に意識しておくのがSDGsの課題です。

SDGsはSustainable Development Goalsのことで、国連加盟国193カ国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。2015年の国連サミットで採択されました。

SDGsは、17の大きなテーマとそれらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。Sustainableというのは「維持できる」という意味で、developmentというのは「発展」とか「開発」とかを意味し、goalsというのは「目標」です。それらの意味は、「地球を破滅させないための取り組む課題とその解決目標」と、私は思っています。

一般には、「持続可能な開発目標」と訳されていますが、「持続可能」って何を持続するのと言いたくなるし、「開発」という日本語が私の心にしっくりこないのです。私は、「地球を破滅させないための取り組む課題とその解決目標」としました。

取り組むテーマは、貧困や飢餓、健康や教育、ジェンダー、安全な水、エネルギー、働きがいや経済成長、技術革新、まちづくり、気候変動や海の話、陸の話などあり、開発途上国だけの話でも先進国だけの話でもなく、全世界の取り組む課題です。なぜなら、今の我々の世界はつながった社会になっており、一つの国、一つの地域で閉じられるような問題はなくなっているからです。

また、SDGs は国や企業だけが取り組む話ではなく、私たち一人一人が取り組まねばならないものでもあります。それは、私たち一人一人の生き方が課題に直結しているからです。プラスチックの使用削減、マイバッグの使用、食品ロスの問題、節電など、生活にそのままつながっているからです。

我々が今直面しているコロナウイルスへの対応と SDGs の達成とはよく似ています。SDGs では、自分の国が目標を達成することが他の国の為にもなり、他の国が良くなることで、自分の国ももっと良くなります。

コロナウイルスへの対応では、自分が感染に気をつけることが他の人の為にもなり、他の人が安全になることで自分の安全も強固になります。マスク、手洗い、手指消毒など、できることは何でもしましょう。

誰でも、一人一人が小さいことから始めることができる、というのも似ています。常に世界を頭において、できることは何でもやりましょう。

我々が生きているこの時代は、一人一人の活動が地球規模の問題とつながっていると、常に意識して生活しましょう。